

東広島植物園では、園内での活動を中心に、温室や圃場で見られる季節の花など、さまざまな情報を紹介しています。

☆組織改編・・・植物管理室は、2019年4月より統合生命科学研究科・附属宮島自然植物実験所の所属となりました。

### フィールドナビ [キャンパスの桜と水]



歩こう!!学ぼう!! をテーマに～キャンパスの里山探検4～が4月6日(土)に実施し30名の方が参加されました。今回は、これまでのフィールドナビでは実施したことのないキャンパスの

最後の秘境?角脇調整池周辺をぐるりと一周し、キャンパスの水の流れを探る旅に出ました。参加されたみなさんは、自然と歴史に触れながら楽しく歩きました。



環境安全センターについての説明や排水溝の中を覗いての見学もありました。

東広島キャンパスには、約70品種を超えるサクラが植えられています。当日は、西グラウンド周辺のソメイヨシノ並木でお花見気分を味わったあと、国際協力研究科周辺で、ジンダイアケボノやウコン、イチヨウ、オモイガクなどたくさん品種のサクラを見比べることが出来ました。

### イシモチソウ自生地の保全

キャンパスに生育する絶滅危惧種であるイシモチソウが草原化により自生地が悪化しているため、3月9日(土)に総合博物館の企画として、保全作業を実施しました。



イシモチソウ

当日は、博物館の清水先生の引率のもと8名の参加者が集い、チェーンソーや刈り払い機などを使いながら、樹木の間伐と草刈りを実施しました。みなさんの力でキャンパスの貴重な自然環境が守られました。



初春の日差しの中、作業に汗を流す教職員と学生のボランティア



### 野鳥調査が終了

2018年4月より毎週金曜日に「東広島の自然と野鳥に親しむ会」の皆さんが中心となって実施されていた調査が2019年3月で一区切りをつけました。



1年間を通して調査することにより、非常に貴重な野鳥のデータを得ることが出来ました。また昆虫や植物についても多くの記録を取ることができ収穫の多い調査となりました。



熱心に最後の写真撮影をされる「野鳥の会」のみなさん。なんと、今年度も引き続き調査をされることに・・・。

### 栽培実習・春コース



実習で作る野菜のほかに、タマネギやジャガイモなどの収穫も体験します。

H31年度の春コースが始まりました。今回は6つの研究科から幅広く参加されました。そのうちの半数は、中国からの留学生のみなさんです。国際色豊かに毎回楽しく実習が行われています。ここでの実習は講義室では学ぶことができない貴重な体験になっています。



### ががら山の竹林整備



昨年度から続けられてきた有志学生による「ががら山整備」は、竹林の伐採へと発展してきました。ががら山においても、竹林の侵入拡大は確実に進んでいます。ゾウ畑の跡地や歴史のある遺跡などの残されたエリアを中心に竹を間引きし、快適に竹林内を歩けるように、整備に取り組んでいます。将来的には、竹林を使って何かイベント的なものが出来たらと考えています。

### 花壇の花 潤いのあるキャンパスを目指して!

キャンパス内の各研究科や附属施設の玄関には、大小の違いはありますが花壇があり来客の方々を迎え入れています。植物園では、希望される部局には、花壇用の花苗を提供してキャンパスの環境美化活動を支援しています。



博物館前の花壇

### 園内の花

#### マレーシアシャクナゲ *Rhododendron vireya*



#### ツツジ科

東南アジアからニューギニアの高地に自生している常緑低木。マレーシアの特産というわけでもない。園芸品種も数多く作出されている。耐寒性は弱い。

### 園内の植物

#### ウツボカスラ *Nepenthes rafflesiana*



#### ウツボカスラ科

赤道近くの東南アジアを中心に分布する食虫植物。袋の中に虫を誘い込んで落とすのが特徴。ネベンテスとも呼ばれ、園芸店などで観葉植物として流通している。



【お問い合わせ先】

【NEW】

広島大学 統合生命科学研究科  
東広島植物園

TEL:082-422-7111  
(内線2842)

E-mail : tshioji@hiroshima-u.ac.jp